



空中元素固定装置 (谷杉氏命名)



アンソニー写真機

イベントのご案内

[谷杉写楽館による撮影イベント]

谷杉写楽館(写真館)より、ダゲレオタイプ撮影用の補助装置を、アート作品として制作依頼を受けたものを会場に展示します。この装置(オブジェ)と、これも小宮が修理/改造したアンソニー写真機を使い、会期中会場内にて写真館館主の谷杉アキラ氏による撮影イベントがあります。

予約制(1日1~2組/1時間程度)

平日:17:00~ 金/土/日:19:00~
(会期時間後となります)

料金:¥15000(税込)

撮影料金+衣装代+額装写真+画像データ+送料

お問い合わせは Photo Studio TANISUGI 写楽館まで
TEL/FAX: 0138-46-4554 / Mail: info@tanisugi.com
予約は会場内でも受け付けます



小宮伸二 略歴

函館生まれ。多摩美術大学絵画科、同大学院美術研究科卒。在学中より個展を中心としたインスタレーション作品の制作発表をおこなう。その頃より舞台美術も手掛けるようになる。空間を扱う作品との親和性もあり、芝居やダンス、音楽などそのジャンルは多岐にわたる。1999年オーストリア・アルプス山麓にあるシュラッテンベルグ城址でのアーティスト・イン・レジデンス(アーティストに提供される 居住兼制作工房)に参加したのをきっかけとして、ヨーロッパ、アメリカ各地で個展開催。アートフェスやシンポジウムにも数多く参加する。オーストリアでは国際的な実験音楽祭での舞台美術担当。ミドルベリー大学などアメリカのいくつかの大学ではDJ ティンク・アーティストとして滞在、学生に講義や共同制作などもおこなう。たとえば、ユーゴスラヴィア(現セルビア)で舞踏会などに使われていた場所でのインスタレーションでは、アレクサンダー王の死去の際に安置された、まさにその心臓の位置に水滴を落とした。またオーストリアトリヒテンシュタイン国境の街の教会跡ヨハニッタではヒトラーの骨を探すために床が掘り起こされたままの瓦礫の中に作品を創り上げた。



こちらから作品動画をご覧になれます \ <https://www.youtube.com/user/RAUMstudio> \

Facebook \



北海道立函館美術館 2014

「トランスラボへようこそ」会場では、下記展示会につながるインスタレーション作品も展示します。

小宮伸二 YURAGI / ゆらぎ

Komiya Shinji Exhibition ; YURAGI / Crossing Waves

12月24日(金)~2022年4月10日(日)

北海道立釧路芸術館
Kushiro Art Museum, Hokkaido

小宮伸二(1961年生)は、函館を拠点に活動する現代美術家。コレクション展「水からはじまるアート」にあわせて、水をモチーフとするインスタレーションを発表します。水のゆらめきがひろがる静謐な空間を、ぜひご体験ください。

